

事業概要【森林資源を活かした林業生産・流通機能強化事業】

申請者	愛媛県、内子町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,292,540千円 (182,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 地方経済の創生
目的・効果	・原木市場を拡大することにより、より多くの原木を一度に受け入れることができ、大規模な取引が可能となる。これにより供給量が増え、取引の効率化や需要に応じた柔軟な販売ができるようになり、市場の安定化につなげる。 ・森林・林業に関する情報や魅力を発信し、新規林業就業者の確保へつなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 原木市場の敷地拡大、木材運搬車のすれ違い困難箇所の解消等による林業の生産・流通機能強化に取り組むことで、流通量を増やすとともに、コストの削減、効率性の向上を実現する。 併せて、森林・林業に関する情報・魅力発信を行うことで、ブランドの強化、若い就業者の獲得につなげる。 【ソフト事業経費】※R8～10 ・林業を深掘りする地域共創マガジンの発行 ・内子杉のブランディング 【拠点整備事業経費】※R8～10 ・原木市場の敷地拡大 【インフラ整備事業経費】 ・木材運搬車のすれ違い困難箇所を解消するための道路改築事業（工事請負費）182,000千円					原木市場の拡大（拠点整備事業）  マガジンの発行（ソフト事業） ＜イメージ＞  運搬ルートの整備（インフラ整備事業）  ＜写真は現況＞	
地域の多様な 主体の参画	地元の小中学校等に地域産業の魅力を発信するとともに、就労支援を行う。また、自治会と連携し、利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。					KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	★①木材流通の年間取扱量（+5,000m3） ②林業就業者数（+4人） ③集積可能な貯木量数（+840m3） ④国道380号を利用する木材の流通量（+2,270m3）